

■令和7年度計画の要点

◆基本的な考え方

2025年度は、今まで以上に通常経済を取り戻さなければならないため、JAGATも通常業務への完全回帰を実現させたい。しかし、コロナが印刷業界に与えた影響は大きく、紙の善悪にまで関わってきてしまっている。昨年度からの現象と言えるが、紙が悪者扱いされてしまっているのだ。

JAGATとしては、今年度はこの辺りについて、印刷の必要性を再度考え、印刷ビジネスを提供する本来のあり方を強く問い直したい。生成AI技術も最大限に活用した「必要とされる印刷ビジネス」をJAGAT活動として提案していきたい。

JAGAT事業に関しては、コロナ禍でイベントはオンラインに移行したが、2024年度では一部のイベントをリアル開催に戻す一方、Hybrid開催は外せなくなった。その最たるものがpage展で、これはオンラインイベントも経験した上での結論である。

JAGAT大会は、状況が許せばリアル開催を考えているが、地方会員からはオンライン開催の要望も根強く、現在、JAGAT大会2025は前年度に引き続き、Hybrid開催を前提に検討している。

Hybrid開催の場合、ビデオや通信設備が充実しているJAGAT本社を最大限活用し、手作りのJAGAT大会を実施することになる。JUMPは、JAGAT大会オンラインに含めた開催を予定しており、前年度開催中止となった近畿大会も、2025年度はリアル開催再スタートの起点とするべく計画当中である。

JAGAT大会のようなリアルイベントを開催しつつ、会員が気軽にJAGATに遊びに来られる環境づくりも再開したい。「page2026リアル展示会」については、page2025のようなJANPS併催は難しいが、スポンサーズセッション等は可能な限りリアルで開催していきたい。

またpage2025の会場で実施した基調講演が好評をいただいたことをふまえ、次回は会期2日目以降に準基調講演を追加実施する方向で考えている。

●研究・教育部

印刷ビジネスについて技術・メディア・市場の観点から、広く印刷産業に貢献すべく継続的な研究調査活動を展開し、研究調査結果は会員を通して広く社会に発信する。

毎月の研究調査の成果は機関誌『JAGAT info』の誌面を通じて会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、JAGAT大会、pageカンファレンス等、様々な機会を通して発信するほか、特定分野の研究成果については適宜、書籍として刊行して業界に提供する。

教育機会の提供を担う部門として、各社の教育計画／教育体系づくりを支援する。業界のトレンドをとらえ、顧客ニーズに基づくセミナー・通信教育・書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施を通じて人材育成、ビジネス拡充に貢献する。

page2026は池袋サンシャインシティ展示会場にて開催予定。印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、他団体とのコラボレーションゾーン、展示会場内セミナーイベント等の企画により来場者増を図っていく。印刷ビジネスについて技術・メディア・市場の観点から、広く印刷産業に貢献すべく継続的な研究調査活動を展開し、研究調査結果は会員を通して広く社会に発信する。令和6年度については、印刷ビジネスのサステナビリティを重点テーマとする。

毎月の研究調査の成果は機関誌『JAGAT info』の誌面を通じて会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、JAGAT大会、pageカンファレンス等、様々な機会を通して発信するほか、特定分野の研究成果については適宜、書籍として刊行して業界に提供する。

●西部支社

近畿会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。企業・関連団体との協力、連携をさらに深め、JAGATならではの人材育成メニューを強化する。また、企業ニーズに応える人材育成事業を充実し、社内研修にも対応する。

■研究・教育部

●部門方針

印刷の普及・振興・発展を視野に、印刷全般の研究と会員への印刷情報の発信を通して、広く印刷ビジネスの成長に貢献すべく研究調査活動を展開する。研究調査領域は、①技術②メディア③市場から構成。研究調査の成果は会員への情報発信を通して、広く業界全般に届ける。

毎月の研究調査の成果は、機関誌『JAGAT info』を通して会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会、pageカンファレンス等、オンラインも含めた様々な機会を通じて発信する。

デジタルメディアの加速度的な普及等により、印刷会社はより広い事業領域への対応を求められるとともに人手不足・採用難に対応するため一層の製造工程の効率化が必要となっている。そこで、2025年度は創注と効率化、それに対応するための人材育成をテーマとする。

「便色カード」サポートの普及啓発活動、大学等での講師活動、印刷会社が発行主体のフリーペーパー調査など、公益法人として積極的な印刷メディアの普及振興活動を継続する。資格試験制度はCBTスタイルの定着をめざす。

- ・page2026 展示会はリアル開催に向けて計画していく。印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、他団体とのコラボレーションゾーン、展示会場内セミナーイベントを企画を行うことで来場者増を図っていく。
- ・教育サービスは、各社の教育計画／教育体系づくりを支援しつつ、セミナー、通信教育、コンサルティング、書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施をニーズに応えるようタイムリーに効率よく実行していく。

●計画の要点・重点目標

- ・研究会活動は「市場動向」「デジタル印刷」「自動化・効率化」「需要創造」を重点とした研究調査とミーティングを企画、展開して情報発信する。また、印刷業界の環境対応について、情報収集と発信を行う。
- ・印刷関連団体（日本印刷産業連合会・全日本印刷工業組合連合会等）への協力。
- ・『印刷産業経営動向調査』『デジタル印刷レポート』『印刷業毎月観測アンケート』『カラーマネジメント技術サポート』など、従来の研究調査・コンサルティングを継続する。
- ・資格試験では、CBTに移行したDTPエキスパートの認知度向上を図るとともに、より受験しやすい制度に近づける検討を続ける。
- ・page展は来場者のニーズに即した、展示内容、ゾーン形成、会場内セミナーイベントを企画することで、来場者の満足度と来場数を高めていく。結果として出展社の費用対効果と満足度を高めた、宣伝効果の高いpage展の企画の充実化に注力する。pageカンファレンスの一部やDTPエキスパート有資格者イベントなどを併催することでpageイベントの総合的な価値を高め来場者増を図る。
- ・教育商品の主体であるセミナーは、オンラインライブ配信セミナーの開催に加え、いつでも繰り返し学習ができるオンデマンドセミナーの拡充も計画する。全都道府県の印刷関連企業が受講しやすい環境と機会をつくる。

◆研究会

予定テーマ

- ・デジタル印刷のワークフロー（RGB入稿等）
- ・ロボットを活用した自動化
- ・プラスαの印刷加工
- ・カーボンニュートラルに向けた取り組み
- ・印刷の検査装置と検査体制
- ・デジタルマーケティング
- ・多様化する印刷通販ビジネスのポイント
- ・AI活用の実用化分野と事例
- ・2023年度印刷会社の経営分析報告
- ・『印刷白書2023』解説セミナー
- ・出版・新聞ビジネスの新展開
- ・フリーペーパーと地域メディア
- ・印刷ビジネスの振り返りと次年度予測2023-2024
- ・広告・通販に見る企業と生活者のメディア利活用

◆研究調査事業

- 月刊誌『JAGAT info』の発行（年12回）
 - ・毎号の連載では、「デジタル印刷最前線」「デジ印奏論」「技術トレンド:グラフィックス」「Education」「経営ウォッチング」「マーケティング情報」「キーワード」「ワールド・プリント・サテライト」など印刷産業の周辺関連情報を広く提供する。
 - ・特集と不定期連載では、5号にわたって掲載する『印刷産業経営動向調査（業績編・戦略編・新技術サービス編・設備編・需要編）』のほか、「Recreating the Future」「マーケティング・ナウ」「デザイン・トレンド」など、技術・教育・メディア・経営・海外など多面的な視点からタイムリーなトピックを取り上げる。
- 『印刷白書2025』（年1回）
 - ・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作する。
- 第47回『印刷産業経営動向調査2025』
 - ・調査の設計と実施
 - ・調査結果の集計・分析
 - ・分析レポートのJAGAT infoへの掲載（7～11月号）
 - ・回答社への分析結果フィードバック（9月中旬）
 - ・報告会（9月下旬）
 - ・報告書の制作・刊行（10月上旬）
- 『印刷業毎月観測アンケート』
 - ・業況に関する調査・集計・分析・調査結果のフィードバックとJAGAT infoへの掲載
- 『印刷会社のフリーペーパー調査』
 - ・調査・集計・分析
 - ・調査結果のフィードバック
 - ・印刷総合研究会での報告会
- デジタル印刷事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載
- 地域活性ビジネス事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載

●印刷関連団体への協力・委員派遣

- ・日本印刷産業連合会
- ・全日本印刷工業組合連合会
- ・東京都印刷工業組合等
- ・日本印刷学会
- ・日本写真学会
- ・日本出版学会
- ・一般財団法人経済調査会

●トピック技術セミナー

- ・2025 年の印刷関連注目技術を集約して開催

●page カンファレンス

- ・研究調査活動を集約し、タイムリーなテーマを取り上げる。page 展会場での一部リアル開催を検討する。

●印刷標準・カラーマネジメントサポート

- ・印刷会社及び印刷発注者への助言とコンサルティング

●新生児向け予防医療支援「便色カード」

- ・カラーマネジメント技術を提供して母子健康手帳「便色カード」制作を全面支援

●コンサルティング（適宜）

- ・カラーマネジメント分野
- ・企業経営分野
- ・その他

◆資格制度

*計 画

- ・本試験 CBT 方式の受験者拡大により、全国各地の印刷関連事業人材のスキル向上を目指す。
- ・模擬試験、通信講座、実技用教材については、本試験 CBT 導入に合わせ、既存形式に捉われず、より受講者の実態に即した柔軟な運用（オンライン化、小冊子販売等）を検討、調整する。
- ・実技試験教材の充実により、実制作人材のスキルシフトをサポートする。
- ・新規受験見込み者および有資格者に対し、各種コンテンツ発信を充実させ、普及推進を図る。
- ・有資格者向けイベントを年 2 回開催し、資格を保有するメリットを高めることで資格更新維持に努める。1 回は page2026 会場での実施を予定。

●計画の要点・重点目標

◆会 員

会員メリットの高い大型セミナーや page 出展等を訴求していくことで、会員拡大を図る。

*計 画

入会 10 社（再入会 2 社）：page6 社、セミナー2 社、西部支社・その他 2 社

◆交流イベント／サービス

●JAGAT大会

会員大会＝JAGAT 大会 2025 は、会員の利便性等を鑑みながら、リアルとオンラインのハイブリッドで開催する。

*計 画 参加 150 名

◆page／イベント

2025 年度は drupa と IGAS の開催年の間となり、大手印刷機器メーカーにとっては自社製品・サービスの国内披露の場となることが予想される。一方で前回 page2025 で実施した「JANPS in page2025」は毎年開催ではないものの、出展企業にとっては大きな成果があったため、一部の出展企業の継続出展が見込まれる。また新企画「工場ソリューションゾーン」はこれまでの page 展とは異なる切り口で、新たな可能性が見えた。page は業界特化型イベントとしてのブランドを持ち、来場者属性も明確なことから、出展メリットを打ち出しやすい。また来場者にとっても様々な出展企業がいることで、満足度の向上にもつながる。page2026 ではこうした施策を実施することで、出展企業と来場者双方にメリットがあり、印刷業界の活性化させるイベントを構築していく。

*計 画

展示小間数 500 小間以上 （出展社 概ね 120 社以上）

page2026 においては通期での事業展開を図り、JAGAT のあらゆる事業と page2026 の浸透・PR を結び付けて、JAGAT への入会促進を行うとともに、収益事業として予算達成を目指す。さらに来場者目線に立ったクオリティアップを行い、イベントの価値向上によって業界全体の活性化に寄与すべく、様々な企画を検討する。

◆広 告

昨今のデジタル広告の伸長に伴い、旧来メディア、特に雑誌に広告メディアとしての価値が問われてきている。しかし当協会会報誌「JAGATinfo」は読者層は極めて明確であり、ターゲットメディアとしての価値は損なわれてはいない。一方で、単なる広告枠スペースを埋めるだけでなく、page イベントでの施策との連動など、企業自らが価値を見出す「協賛」のような形を引き出す施策を構築していきたい。

*計 画

広告枠 Ji 誌 70 本以上（企画広告 6 本以上を含む）、不定期媒体などの広告枠 10 本以上

◆通信教育

JAGAT の通信教育は、唯一業界に特化した講座を提供できるという強みをもつ。特定時間の拘束や場所・距離といった制約を受けないというメリットとともに、これを広くアピールしていく。中堅規模の企業開拓、そのための内定者教育としての「新入社員コース」を中心としたプロモーションとともに、セミナーのフォローアップ教育としての連携を図る。

*計 画

JAGAT：13 講座+受託販売講座：14 講座 400 名受講

- ・「新入社員コース」の拡販。副教材のオンデマンド動画セミナーを全面に、内定者・新入社員教育への採用促進を進める。
- ・「新入社員コース」からのステップアップ教育としての「印刷技術・基本コース」への流れを促す。
- ・既存大口受注企業の継続受注。
- ・継続的な各コースのブラッシュアップ（増刷時）。

◆刊行物

JAGAT の情報発信ツールとしてのパブリッシングを継続していく。

『みんなの印刷入門』『新版 DTP ベーシックガイドンス』『オフセット印刷技術』『トラブル解決』などの印刷業界基本図書のテキスト採用等による販売維持。新受験制度となった DTP エキスパート受験促進もからめた対策参考書の販売。『印刷白書』『印刷マネジメントブック』といったコアな統計情報など各種レポート類の発行、拡販を通じて公益事業体としてのパブリッシング、コンテンツ発信に努める。

*計 画

JAGAT 発行 15 点+受託販売 合計 2,000 冊

- ・基本図書『みんなの印刷入門』及び『新版 DTP ベーシックガイドンス』のテキスト採用に向けたスクールへのプロモーション
- ・『DTP エキスパート受験サポートガイド』受験促進に合わせた PR
- ・基本図書増刷時における内容のアップデート、ブラッシュアップの継続。

◆セミナー事業

印刷技術から営業、マーケティング、デザインまで印刷業界に特化した内容でセミナーを展開していく。また、受講者の教育効果を追求するために、グループワークを取り入れての実践型セミナーも強化していく。採用難への対応、早期離職防止のために体系的な教育プログラムの検討、提案を行っていく。

*計 画

定期プログラム 45 講座を準備し年間 90 回開催、総受講者数 800 名を予定する。

- ・新入社員向け研修は、2024 年にリニューアルし、会場受講&オンデマンドによるハイブリッド参加ができる学び放題サービスの販売拡大を図る
- ・大型ゼミの販売拡充（工場長養成講座、印刷機長講座、印刷営業マネージャー養成講座）
- ・全国都道府県の方の参加利便性を高めるため、オンラインライブ配信型セミナーにシフトする
- ・繰り返し学習できるオンデマンド配信セミナーの販路を拡大する
- ・講師の発掘及び新規セミナーの開発
- ・生産性向上訓練の受託
- ・個別企業への講師派遣研修の拡充

■西部支社

*方針⇒支社としての役割の充実

- ・会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。
- ・印刷および関連団体との協力関係をより強化し、情報交換および人材育成の機会を創出する。

*計画

- ・セミナー45講座（生産性向上支援訓練8講座含む）開催、500名の受講を計画する。
- ・本社と連携しオンライン配信講座（社内研修を含む）の充実を図る。
- ・西部支社から近畿地区への入会促進および各種情報発信を実施する。
- ・個別企業向け研修、団体向け研修を働きかけ、各種教育機会を拡充する。

■財務計画推進室

*計画

1) 建物老朽化に伴う問題について

- ・保有コスト（修繕費、固定資産税等）の増加、災害発生時の人命リスク
- ・貸借移転、購入移転の2択で検討、社員数24名に見合った建物面積の物件を模索
- ・一般入札方式による売却方式の選定
- ・確定測量、アスベスト調査の実施検討

2) 資産運用のポートフォリオの見直し

- ・米国債、ETF、株式の組み込み

3) バックオフィスシステムのクラウド化、システム統合

■管理部

*計画

- ・老朽化する施設設備の今後の保有コスト及び災害発生時等のリスク検討
- ・築年が経過した建物の更新方法の検討（賃借移転、売却後の購入移転等）
- ・インボイス制度・電子帳簿保存法への適切な対応。
- ・遊休資産の有効活用と社内環境整備。
- ・適正な人材募集活動。